

2011年度

長月講

大原幽学と飯岡助五郎

講演 江戸博徒の実像

長月講のお知らせです。機関誌5号に掲載された「江戸の教育力から学ぶ」について講演いただいた高橋敏先生に再度お願いしました。

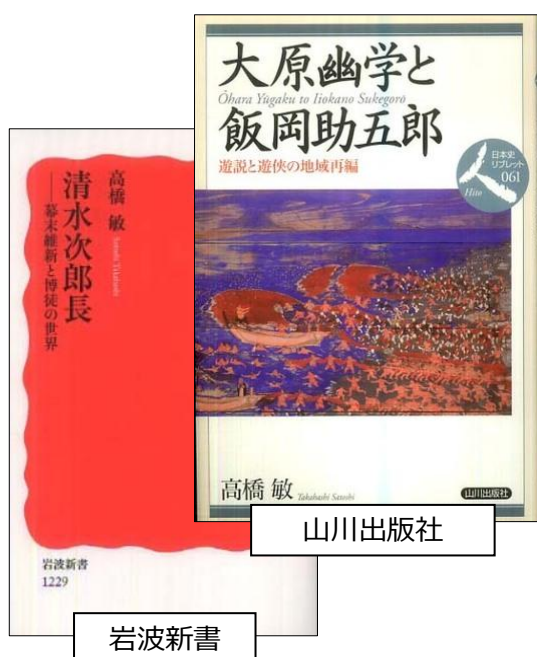
岩波新書の「国定忠治」「清水次郎長」などの名著を出されている高橋先生が今年1月に出されたのが、今回講演をお願いしている「大原幽学と飯岡助五郎」（山川出版社）です。江戸の博徒研究の第一人者でもある先生からどんなお話が聴けるのか楽しみです。

大原幽学と飯岡助五郎 遊説と遊侠の地域再編

出稼ぎ漁師の余所者であった飯岡助五郎は生業は地引網主、裏家業が博徒の親分という二つの顔を持ち、権力と共棲する形で68歳の生涯を生き抜いている。一方、漂泊の浪人大原幽学も先祖株組合の結成や耕地の交換分合、預り子・取替子などの仕法を行い、幽学の教えは東総の村々に急速に浸透していく。潰れ百姓が再興され、年貢未進者が皆無となり、模範村となったにもかかわらず、幽学の身分の曖昧さが問題となり弾圧を受けて、幽学は自決している。この二人の対比を高橋氏は、二足の草鞋の博徒に人別があり、荒廃した村々の救世主が無宿の恐怖におびやかされるという構図に、江戸時代後期村落社会の面白さがある、と記している。

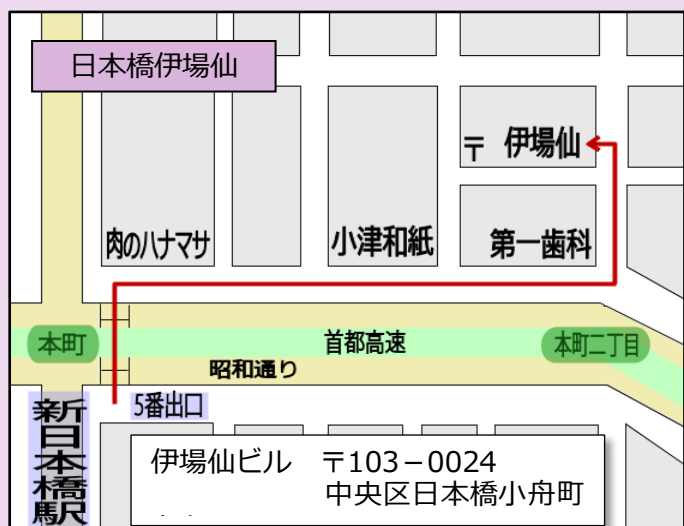
講師紹介 高橋 敏（たかはしさとし）

1940年静岡県生まれ。国立歴史民俗博物館 総合研究大学院大学名誉教授。「江戸の訴訟」「葎山代官江川家と地方支配」「江戸の教育力」など著書多数。



山川出版社

岩波新書



開催日時：9月17日（土） 15時～17時

開催場所：日本橋伊場仙ビル7階

参加費：1000円

終了後講師を交えて懇親会を予定

JR横須賀総武線 新日本橋駅(5番出口)徒歩6分
銀座線・半蔵門線 三越前駅